温暖化防止活動事例収集・発信事業 ストップ温暖化 「エコカップ やまがた2016」 活動事例集



庄司萌梨絵さんの作品

~「エコカップやまがた2016」とは(趣旨)~

地域での地球温暖化防止活動や低炭素社会づくりを一層推進するため、山形県内各地域の温暖化防止や再生可能エネルギーなどの活動事例を収集し、活動事例発表会や冊子等で広く情報発信することを目的としています。

御礼

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2016」実行委員会

委員長佐藤五郎



地球温暖化の影響と考えられる様々な現象が見え隠れするなかで温暖化対策の新しい枠組み「パリ協定」の批准について遅れていた日本は、ようやく昨年の11月8日に衆議院で可決し批准書を国連本部に提出しました。スタートには間にあわなかったが何とか滑り込んだ観です。温暖化対策は地球人として共通の認識で立ち向かわないと何の効果も期待できないでしょう。今後は、世界をリードする気概で取り組んでもらいたいものです。

翻って、日頃熱心な活動を展開している地元の事例を広く紹介し、温暖化防止にむけて一層の活動を促すための情報交換を図ろうと始めた「エコカップやまがた」も今年度で10回目を迎えることができました。その間一度も途切れることなく続けてこられたのは、偏に県内各地で取り組んでこられた皆様方のご努力の賜物であり、支えて頂いた関係機関と合わせて心より深謝の意を表します。今回も62件もの活動事例が寄せられ、中でも人口比率からみた庄内地方の事例が多かったようです。また分野では、バイオマスや太陽エネルギーなどのいわゆる再生可能エネルギーの活用や環境教育など多彩な事例に及んでいます。とくに次世代を担う高校生や小中学生が主体とする活動も寄せられたことは長い時間を要する温暖化防止活動にとって頼もしい限りと言えるでしょう。その中から8団体が「やまがた環境展」の一環としてプレゼンを行いました。そして、南陽市の「地域材を活用した木造公共施設」の取組みは、「低炭素杯2017」へも出場し、2月16日に行われた東京での発表会では見事「環境大臣賞金賞」に輝きました。これで山形県内の活動事例が4年連続の全国入賞を果たし、山形県における温暖化防止活動の熱意とレベルの高さが実証された形です。最後に今後一層の幅広い展開を期待し重ねて感謝を申し上げ御礼といたします。

【ストップ温暖化「エコカップ やまがた2016」実行委員会】

<委員長> 佐藤 五郎 (NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク 代表理事)

小谷 卓 (鶴岡工業高等専門学校 名誉教授)

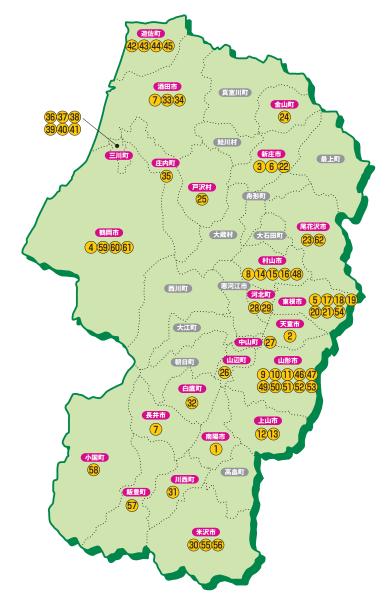
小林 裕明 (株式会社山形新聞社 論説委員長)

菅原 弘紀 (NPO法人 山形県自動車公益センター 顧問)

小松 浩 (山形県環境エネルギー部環境企画課長)

活動地域マップ

~ どこの市町村で活動しているのかな? ~



※マップの番号と団体名は、「3・4ページ」に記載していますので、ご覧下さい。

ストップ温暖化 「エコカップ やまがた2016」

目 次

| 実行委員長あいさつ、実行委員の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
|--|-----|
| 活動地域マップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 2 |
| 目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ~ 4 |
| 活動事例発表会、低炭素杯2017の様子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ~ 6 |
| 活動紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7~ | -32 |
| *各団体のページは、以下の一覧をご覧下さい。 | |
| 共催団体の活動紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| 過去の「エコカップやまがた」大賞団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 34 |

【活動内容一覧(全活動団体紹介)】

| 分類 | 取り組みの名称 | 団体名 | 市町村 | マップ番号 | ページ |
|----|---------------------------------------|-------------------------------|------|-------|-----|
| | 地域材を活用した木造公共施設(南陽市文化会館) | 南陽市 | 南陽市 | 1 | 7 |
| | 「ものづくり」を通した明るい地域づくり ~デンばんだ大作戦~ | 学校法人山形電波学園 山形電波工業高等学校 | 天童市 | 2 | 8 |
| 発 | 食品トレーリサイクル「新庄もがみ方式」 | 新庄最上定住自立圏形成ごみ減量化 対策推進協議会 | 新庄市 | 3 | 9 |
| 表 | 木質バイオマス利用で地域のエネルギー自給自足 | 三瀬の薪研究会 | 鶴岡市 | 4 | 10 |
| 団 | 田んぽソーラー | 長瀬農園 | 東根市 | (5) | 11 |
| 体 | 雪国対応型太陽光発電所 | もがみ自然エネルギー株式会社 | 新庄市 | 6 | 12 |
| | ホテルでの環境活動の取り組み | 株式会社ホテルリッチ酒田 | 酒田市 | 7 | 13 |
| | 絶滅危惧植物の保護活動および県民を対象とした総合的な環境学 習の展開 | 山形県立村山産業高等学校 農業部バイオテクノロジー班 | 村山市 | 8 | 14 |
| | キャンドルスケープinやまがた2016 | 山形市 | 山形市 | 9 | 15 |
| | 下水汚泥をエネルギー源に 〜バイオガスを利用した発電と熱利用〜 | 山形市上下水道部浄化センター | 山形市 | 110 | 15 |
| | 環境や省エネルギーに配慮した取り組み | 山形市消防署西崎出張所 | 山形市 | 11) | 15 |
| | キャンドルナイト イン 上山城 | 上山市地球温暖化対策地域協議会 | 上山市 | 12 | 16 |
| 行 | グリーンカーテンのモデル設置 | 上山市地球温暖化対策地域協議会 | 上山市 | (13) | 16 |
| 政 | 公共施設グリーンカーテン設置事業 | 村山市 | 村山市 | 14) | 16 |
| 地 | 木質バイオマス利用拡大支援事業 | 村山市 | 村山市 | (15) | 17 |
| 球温 | GOGO!むらやま夢体験塾ジュニア環境塾 | 村山市教育委員会 | 村山市 | 16) | 17 |
| 暖化 | 家庭版環境ISO事業 | 東根市 | 東根市 | 17) | 17 |
| 対 | MBH運動事業 | 東根市 | 東根市 | (18) | 18 |
| 策地 | リユース食器事業 | 東根市 | 東根市 | (19) | 18 |
| 域協 | 環境週間ひがしね | 東根市 | 東根市 | 20 | 18 |
| 議会 | 東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO事業」 | 東根市内の小中学校 | 東根市 | 21) | 19 |
| A | 新庄市再生可能エネルギー設備導入事業費補助金 | 新庄市 | 新庄市 | 22 | 19 |
| | 再生可能エネルギー設備導入事業 | 尾花沢市 | 尾花沢市 | 23 | 19 |
| | 役場新庁舎太陽光バネル設置事業 | 金山町 | 金山町 | 24 | 20 |
| | エコスタイル | 戸沢村役場 | 戸沢村 | 25 | 20 |
| | 住宅用再生可能エネルギー設備への補助 | 山辺町 | 山辺町 | 26 | 20 |

| 分類 | 取り組みの名称 | 団体名 | 市町村 | マップ番号 | ページ |
|-------------|---|--|------|-------|-----|
| | 住宅用太陽光発電システム設置補助金 | 中山町 | 中山町 | 27 | 21 |
| | 生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業 | 河北町役場 | 河北町 | 28 | 21 |
| | 太陽光発電システム設置補助事業 | 河北町役場 | 河北町 | 29 | 21 |
| | フードマイレージ!地産地消 親子エコ料理教室・環境講座 | 置賜地域地球温暖化対策協議会 | 米沢市 | 30 | 22 |
| | 川西町フレンドリーブラザ雪冷房システム | 川西町 | 川西町 | 31) | 22 |
| 行 | 再生可能エネルギー設備設置補助事業 | 白鷹町 | 白鷹町 | 32 | 22 |
| 政・ | 緑のカーテン事業 | 酒田市 | 酒田市 | 33 | 23 |
| 地球 | 廃食用油からのエコキャンドル作り | 酒田市 | 酒田市 | 34) | 23 |
| 温 | 「庄内町町民節電所」事業 | 庄内町地球温暖化対策地域協議会 | 庄内町 | 35 | 23 |
| 暖化 | 廃食用油(植物性)の集団回収とBDFへリサイクル | 三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 | 三川町 | 36 | 24 |
| 対策 | 住民参加型「空き缶回収事業」 | 三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 | 三川町 | 37 | 24 |
| 地域 | 町内会等集団資源回収、巡回資源回収、資源リサイクルステーション、 資源ボストによる資源リサイクルの推進 | 三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 | 三川町 | 38 | 24 |
| 協 | 町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚 園へのグリーンカーテンの設置 | 三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 | 三川町 | 39 | 25 |
| 競会 | ・ゴミの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座 ・廃プラスチック卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施 ・エコキャンドルづくりの出前講座 | 三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、 みかわ保育園・幼稚園、三川町地球温暖 化対策地域協議会 | 三川町 | 40 | 25 |
| | 住宅用太陽光発電システム設置補助 | 三川町 | 三川町 | 41) | 25 |
| | 緑のカーテンプロジェクト事業 | 遊佐町、遊佐町地球温暖化対策地域協 議会 | 遊佐町 | 42 | 26 |
| | 遊佐町小中学校エコ・チャレンジ事業 | 遊佐町 | 遊佐町 | 43 | 26 |
| | 石けんづくり教室 | 遊佐町地球温暖化対策地域協議会 | 遊佐町 | 44 | 26 |
| | 遊佐町再生可能エネルギー設備導入支援事業 | 遊佐町 | 遊佐町 | 45 | 27 |
| N P O | 環境出前教室 (マイ箸作り) | NPO 環境と食農研究会 | 山形市 | 46 | 27 |
| O·団体等 | 工口窓普及推進活動 | 山形県サッシ・ガラス協同組合 | 山形市 | 47) | 27 |
| 等 | ecoキャンドルナイトinむらやま | NPO法人甑葉プラザネット | 村山市 | 48 | 28 |
| | TUYエコキャンペーン 地球温暖化防止&エコ番組 「山形エコブロジェクト えこいろ」 制作・放送 | TUY 株式会社テレビユー山形 | 山形市 | 49 | 28 |
| | 廃棄物の焼却発電施設 | 株式会社クリーンパワー山形 | 山形市 | 50 | 28 |
| | 環境にやさしい自動車販売・整備事業場 | トヨタカローラ山形株式会社 | 山形市 | 6 | 29 |
| | 太陽光発電システム 本店・小白川支店・アグリセンターに設置 | 山形市農業協同組合 | 山形市 | 62 | 29 |
| | マイロードサポート活動 | 山形パナソニック株式会社 | 山形市 | 63 | 29 |
| 企 | 木質ペレットストーブの製造・販売と、 太陽光発電設備の導入を通した低炭素社会づくり活動 | 株式会社 山本製作所 | 東根市 | 54) | 30 |
| 業 | 地域資源である古民家を見直し、再生・活用していこう | 一般社団法人山形県古民家再生協会 | 米沢市 | (55) | 30 |
| 等 | 山形県産の無垢材による木製ブロックの製造販売 | 株式会社ニューテックシンセイ | 米沢市 | 56 | 30 |
| | バイオマス燃料の製造販売 | 中津川バイオマス株式会社 | 飯豊町 | 57 | 31 |
| | エネルギーの地産地消を目指した木質ペレットとストーブの普及 〜Green Energy for the Future〜 | ペレットマン (小国グリーンエナジー合同会社) | 小国町 | 58 | 31 |
| | 事業所での継続的な省エネ活動 | 株式会社JVCケンウッド山形 | 鶴岡市 | 59 | 31 |
| | 省エネルギーと環境配慮への取り組み | 松文産業株式会社 鶴岡工場 | 鶴岡市 | 60 | 32 |
| | 地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発 | 株式会社 渡会電気土木 | 鶴岡市 | 61) | 32 |
| 学校 | 温水ため池にすむ生きもの調べ | 尾花沢市常盤小学校 | 尾花沢市 | 62 | 32 |

·

温暖化防止活動事例収集・発信事業 ストップ温暖化「エコカップ やまがた2016」 活動事例発表会

平成28年11月19日の活動事例発表会では、報告いただいた62団体の中から実行委員会より推薦された8団体が事例の発表を行いました。多くの方にご参加をいただき、事例発表を聞いて参考になったという声が多数寄せられました。発表団体の皆様、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

発表団体のうち、「南陽市」に『エコカップやまがた大賞』が、「山形電波工業高等学校」 に『エコカップやまがた実行委員会特別賞』が贈られました。

エコカップやまがた大賞

◎南陽市(南陽市)

「地域材を活用した木造公共施設(南陽市文化会館)」

エコカップやまがた実行委員会特別賞

◎学校法人山形電波学園 山形電波工業高等学校(天童市) 「「ものづくり」を通した明るい地域づくり ~デンばんだ大作戦~」

エコカップやまがた賞

- ◎新庄最上定住自立圏形成ごみ減量化対策推進協議会(新庄市) 「食品トレーリサイクル「新庄もがみ方式」」
- ◎三瀬の薪研究会(鶴岡市) 「木質バイオマス利用で地域のエネルギー自給自足」
- ◎長瀬農園(東根市)

「田んぼソーラー」

- ○もがみ自然エネルギー株式会社(新庄市) 「雪国対応型太陽光発電所」
- ◎株式会社ホテルリッチ酒田(酒田市)
 「ホテルでの環境活動の取り組み」
- ◎山形県立村山産業高等学校 農業部バイオテクノロジー班(村山市)「絶滅危惧植物の保護活動および県民を対象とした総合的な環境学習の展開」





低炭素杯2017

南 陽 市 地域材を活用した世界最大の木造コンサートホール 【環境大臣賞 金賞】受賞

2017年2月16日(木) に、今回で7回目を迎える「低炭素杯2017」が東京で開催されました。

「低炭素杯」は、全国の市民・企業・学校・自治体などの多様な主体が取り組む、地域や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の活動を、発表を通じて、取組のノウハウや情報を互いに共有し、さらなる活動に向けて連携の輪を広げていくものです。

「低炭素杯2017」では、全国からエントリーされた951団体のうち、厳しい審査を経て選ばれた26団体が、「学生部門」「企業部門」「市民部門」「自治体部門」の4つの部門別に、4分間のプレゼンテーションを行いました。

山形県からは、「南陽市」が出場し、活動を全国へアピールしました。 審査の結果、「環境大臣賞 金賞」(自治体部門)を受賞しました。







「低炭素杯2017」の詳細は ホームページ (https://www.zenkokunet.org/teitansohai/)にて ご覧いただけます。



🖊 エコカップ やまがた 大賞

南陽市

地域材を活用した木造公共施設(南陽市文化会館)

南陽市 [マップ番号: (1)]

平成24年度林野庁所管「森林整備加速化・林業再生事業」の先駆的 モデル事業として採択を受け、事業期間を2箇年として延床面積5,900㎡ を有する地下1階地上3階の新文化会館の建設に着手し平成27年10月にグ ランドオープンしました。

全国初となる木造耐火による文化ホールとして整備することにより、森 林資源を地域産業に結び付け木材利用の新たな可能性を拡げる契機とな り、川上から川下まで関係者が一体となった持続可能な循環型社会形成 を目指した先導的な取り組みと捉えています。

- ●川上から川下が一体となった地域材の利用
- ・木材の調達:伐採量12,413㎡(うち地元産スギ材46%)
- ·集成材製作:製造量 3,570㎡·内装材600㎡ 炭素貯蔵効果=917.4t【(製造量+内装材)×0.22t-C/㎡】
- ●再生可能エネルギー等の地域資源を徹底活用
- ・木質バイオマス:48.6t-CO₂の削減効果(木質チップ580㎡)
- ・太陽光発電 :23.0t-CO2の削減効果 (40,986kWh/年) 木材は建築空間の温度及び湿度変化を抑制する優れた機能を有しています。 木に対する空間の快適性をデータとして記録しながら、

地産地消による省エネルギー「見える化」を実践しています。







▼エコカップ やまがた 実行委員会特別賞

天童市

『ものづくり』を通した明るい地域づくり ~デンぱんだ大作戦~

山形電波工業高等学校[マップ番号: ②]

平成23年(2011年)より、カメラのフィルムケースを再利用して「携帯型LEDライト」をオリジナルで製作。それを配布して地元警察署(山形警察署、天童警察署)、民生委員と協働で高齢者事故防止運動推進や地域でのものづくり教室(親子教室)、震災被災地宮城県の小学校へ訪問ボランティア等を実践しながら、明るい地域づくりに貢献しています。





エコカップ やまがた賞

新庄市

食品トレーリサイクル『新庄もがみ方式』

新庄最上定住自立圏形成 ごみ減量化対策推進協議会 [マップ番号: ③]

食品トレーリサイクル「新庄もがみ方式」は、市民・行政・小売業者・福祉施設・トレーメーカーの地域ぐるみの参加と共立で成り立っています。使用済みトレーを回収し、再生原料に戻してトレー製造原料として活用することにより、資源の地域循環を行っています。これにより、ごみが減量化され、地球温暖化対策に繋がります。また、作業に携わる障がい者の方の収入も生み出されます。

平成16年から全国で初めて新庄市でこのシステムを実施してきましたが、 平成28年度から新庄最上定住自立圏共生ビジョンに基づき最上地域8市 町村で連携して行うことを受けて、名称を「新庄もがみ方式」と改めました。 最上8市町村がそろってごみ減量化・再資源化を進め、環境と福祉に優し い取組みを推進していきます。





✔ エコカップ やまがた賞

鶴岡市

木質バイオマス利用で地域の エネルギー自給自足

三瀬の薪研究会 [マップ番号: (4)]

三瀬の薪研究会では、地域外に流出している石油灯油重油の金額約 1億円を地域内で循環させることを目的に薪の利用を促すイベントや、山に親しむイベントなどを企画している。

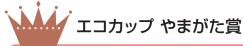
- ①薪割体験会 誰でも参加できるイベントの他に、地元の保育園や学童の児童などに薪を割らせるイベントも実施。
- ②散策イベント 当会で散策道を整備。森に親しむことで、山に入ることの大切さや荒れた山と整備された山のコントラストなども見てもらう。
- ③ピザ釜を作成 薪を使うピザ釜を作り、ピザ作りイベントを実施。薪 割体験とセットで木質バイオマス利用を美味しく体験してもらう。

ポイントは薪の研究会単独ではなく、地域の自治会、民間企業、保育 園や小中学校との協力により成り立っていること。三瀬地区を挙げて取 り組むことが重要と考える。

26年度と27年度で計6回のイベント実施。延べ200名参加







東根市

田んぼソーラー

長瀬農園 [マップ番号: ⑤]

田んぼの上にソーラーパネルを並べ、耕作と共に太陽光発電を行う。

2012年農水省の指針により条件付きながら農地上にて太陽光発電をすることが認められた(ソーラーシェアリング又は営農型太陽光発電という)。ソーラーシェアリングは発案者の長嶋彬氏の公開特許となっている。

指針の条件に基づき2014年秋、東根市の18aの田んぼに出力約30kWの発電所を作り、翌年の1月より通電開始する。1年間の発電量は約33000kWh。パネル下部の稲作も遮光率30%以下ではほとんど影響はなく順調に生育し、今秋に2度目の稲刈りを迎える。

このソーラーシェアリングの取り組みは全国で700以上あるが、稲作での実例は 数か所でありまだ少ない。東北では宮城県名取市の発電所に続いて2例目となる。

なぜ、わざわざ農地で耕作しながらその上で太陽光発電を行うのか。自然エネルギーが進んでいるドイツではトウモロコシ畑や小麦畑に無数の風車が回っている。山形県では5~6m/sの風が必要な風力発電は日本海側の地域に限られる。また、水力発電は個人の取り組みは難しい。太陽光発電は全国ほとんどの地域で可能であり、住宅などの建造物の屋根上とともに農地で太陽光発電ができればその用地はたくさんある。ソーラーシェアリングでは植物の生育上、可能な作物が限られる(光合成飽和点が関係)。稲作で問題がなければその候補地は多い。20aで50kW出力の発電所は地産地消、小規模分散型の発電所となり、農産物生産地と消費地(住宅地)が近くにある日本農業の特徴を生かせる。







エコカップ やまがた賞

新庄市

雪国対応型太陽光発電所

もがみ自然エネルギー株式会社[マップ番号: ⑥]

地元企業・地域住民等を合わせて39人の株主が出資し設立された当社は、エネルギーの地産地消を目的とする企業です。2016年2月に稼働開始した飛田太陽光発電所は、高さ2mのアルミ製架台、パネル設置角度30°という雪国対応型としての特徴を持って建設された施設で、年間242,000kWhの電気を生み出し、50~60世帯の電力を賄うほどの能力があります。これは、CO2であれば122t/年、石油であれば54kl/年の削減効果と言い替えられます。また、地域への最大の貢献として、新規企業を立ち上げたこと、新規雇用を実現したことが挙げられます。これは企業誘致に匹敵する成果と考えています。株主の願いは当社のみの利益追求ではなく、再生可能エネルギーに関するノウハウを地域に波及させ、地元企業・地域住民全体でエネルギーの地産地消意識を醸成させることです。建設時の地元企業との連携・金融機関支援、稼働後の電気管理・除雪作業等々、多くのノウハウは地域に落とし込めたと自負しています。「想い」のある人達が集まれば、雪国でも太陽光発電による地域貢献は実現可能な世界でした。我々は、次のチャレンジャーが現れるのを待っています。





エコカップ やまがた賞

酒田市

ホテルでの環境活動の取り組み

株式会社ホテルリッチ酒田 [マップ番号: ⑦]

当ホテルは、国際環境認証「グリーンキー」を観光施設として日本で初めて2009年5月に取得しました。

グリーンキーとは、環境保全活動の姿勢や取り組みなど12分野約100 項目の国際基準について認証審査を受け、基準を満たした宿泊施設に与えられるエコラベルで、海外にも通用するエコホテル・旅館とされます。日本では、過去に4か所の宿泊施設が認証されていましたが、現在、当ホテルが唯一の認証施設となっています。

お客様や従業員、出入りの業者などすべての関係者の方に対して、環境保全をいかに呼びかけていくかを常に考え、お客様と一体になった環境活動を展開しています。

たとえば、客室での燃えるゴミと缶・ペットボトルへの分別やアメニティをエレベーターホールに設置し、使う分だけ部屋に持って行っていただく、連泊のお客様でシーツ交換不要の場合は専用マグネットでお申し出いただくなど、お客様のご協力のもと活動を展開しています。







/ エコカップ やまがた賞

村山市

「絶滅危惧植物の保護活動および県民を対象とした総合的な環境学習の展開」

山形県立村山産業高等学校 農業部バイオテクノロジー班 [マップ番号: 8]

本校では約10年前より絶滅危惧植物の保護活動を行ってきた。近年では、オキナグサやヒシモドキの保護・増殖に取り組んでいる。オキナグサでは、増殖方法の検討やそれらの普及啓発、山形市南山形地区の住民と協力したオキナグサの植栽や環境学習を行っている。ヒシモドキでは、無菌培養法の確立や効率的な増殖方法の検討を実施した。また、これらの取り組みの成果を題材として、県民を対象とした環境学習を実施している。地球温暖化防止、再生可能エネルギー利用から希少生物の保護など幅広いテーマを題材としたプレゼンテーションやECOクイズの実施、絶滅危惧植物の栽培や最上川の水質調査などの体験的な企画を盛り込んだ環境教育を実施している。これらの活動への参加者は本年度までで約2,000人である。このように高校生が主体となり、企画・立案・運営を行った県民を対象とした総合的な環境学習を展開する事例は県内にない。



山形市

キャンドルスケープinやまがた2016



山形市 [マップ番号: (9)]

キャンドルスケープinやまがたは、国のライトダウンキャンペーンの一環として行われ、今年度で12回目を迎えました。電気を消し、ロウソクを灯してゆったりとした時間を過ごす中で、夜空の素晴らしさとキャンドルの明かりの温かさを実感することにより、節電や地球温暖化防止の啓発を図るイベントです。

また、今年度はキャンドルスケープを「COOL CHOICE」の取組みの1つと位置づけ、山形市長が「COOL CHOICE」推進宣言を行い、賛同を呼びかけ、会場内は多くの親子連れで賑わいました。

山形市

下水汚泥をエネルギー源に ~バイオガスを利用した発電と熱利用~



山形市上下水道部浄化センター [マップ番号: (10)]

下水汚泥を嫌気性消化した際に発生するバイオガス (メタンガス) を使用し、燃料電池式発電機 (100kW) 4基による発電を行っています。また、発電装置から排出される熱を回収して、消化槽の加温等に利用するコージェネレーションシステムを導入することにより、平成27年度実績で1,834tのCO₂削減効果がありました。

山形市

環境や省エネルギーに配慮した取り組み



山形市消防署西崎出張所 [マップ番号: ①]

消防署西崎出張所は、平成24年10月1日に設置されました。建物は免震構造で、敷地内には自家用給油取扱所、ヘリポート、自家用発電設備を備え、大規模災害の発生時には、災害対応の拠点として位置付けられる施設です。また、環境や省エネルギーに配慮した施

設として、敷地内に最大限の緑地を確保し、建物の南側壁面上部には合計で90㎡のソーラーパネルを設置することで温室効果ガス排出量の削減に努めております。

上山市

キャンドルナイト イン 上山城



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: (2)]

公益財団法人上山城郷土資料館の協力のもと、上山市のシンボルでもある『上山城』を会場に行っている事業です。平成28年度は廃食油を利用して作ったエコキャンドルを灯しました。館内では、小さいお子様からも楽しく理解していただけるような環境についてのスタンプラリーや家庭のアクションへの参加の呼びかけ、節電をテーマにしたイベントも含んだステージショーを実施し、来場者に地球温暖化防止を呼びかけました。

上山市

グリーンカーテンのモデル設置



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: (33)

震災後、節電への取り組みが重要視されており、当協議会では冷房効果の向 トが期待できるグリーンカーテンの普及を目的とした事業に取り組んでいます。

例年、市役所庁舎の壁面を借り受け、ネットを利用してゴーヤやアサガオ栽培の紹介を行っており、市内公民館等の各施設においても同様のモデル事業として取り組んでおります。また、壁面やネットを設置することが難しい所においても簡単にグリーンカーテンを設置できる「どこでもグリーンカーテン」と命名したキット

を昨年製作し、上記施設の一部に配置しており、これらにより日差しを遮り、エアコンの使用頻度を減らし、省エネ効果でCO。を削減し、うるおい環境の創出など地球温暖化防止およびその周知に取り組んでいます。

村山市

公共施設グリーンカーテン設置事業



村山市 [マップ番号: (4)]

村山市では、夏季の省エネと地球温暖化防止のため、公共施設のグリーンカーテン設置に取り組んでいます。平成28年度は16施設でグリーンカーテンを設置し、直射日光が遮られ、エアコンの設定温度を抑えることができました。また、窓辺の緑が職員や児童に涼しさを提供してくれました。

村山市

木質バイオマス利用拡大支援事業



村山市 [マップ番号: (15)]

村山市では、再生可能エネルギーの 普及促進を図るため、平成25年度から 木質バイオマス燃焼機器(ペレットスト ーブ、薪ストーブ等)を設置する個人及 び事業者に対し、補助金を交付してい ます。補助金額は補助対象経費の3分 の1以内で、上限10万円です。

村山市

GOGO!むらやま夢体験塾ジュニア環境塾



村山市教育委員会 [マップ番号: (16)]

市内在住の小中学生を対象に、環境に関する様々な体験活動を実施しております。 平成27年度は環境科学研究センター内の見学をさせていただき、環境についてどのような取組みがされているのかを目の当たりにし、大気、水質など多くの事があることを学びました。また河川の汚れについて調べるため、川にいる生き物を観察して水質を調査しました。身近な川でも水質が簡単に調査できることを知りました。 汚れている川、澄んでいる川、どうしてその違いが出るのかを学びました。

子どもたちは、身近な所に環境問題があり、自分たちが実際に取り組める行動を自ら学んでおり、ジュニア環境塾は子どもたちにとって環境について考えるとてもよい機会となっております。

東根市

家庭版環境ISO事業



東根市 [マップ番号: ①]

将来を担う子どもたちに環境負荷の少ない生活様式を身に付けてもらうため、家庭でできる環境にやさしい取り組みを行っています。

昨年に引き続き、市内の保育所や児童センター、幼稚園の児童を対象に、7月1日~15日の半月間に取り組む「節電」「節水」「ごみ減量化」などのエコな目標を立ててもらい、チャレンジ用紙の達成した日にシールを貼ってもらう取り組

みを実施してもらいました。平成28年度は258名の参加をいただきました。

東根市

MBH運動事業



東根市 [マップ番号: (18)]

地球温暖化防止に向けて、できることから始める環境への取り組みとして平成20年5月からMBH (マイバッグ・マイはし持参) 運動を全市を挙げて行っています。マイバッグ持参運動は当初4店舗でレジ袋の有料化をスタートし、現在は8店舗で実施しています。マイバッグ持参率は約90%で市民に定着し、レジ袋の使用枚数が削減さ

れています。市職員におけるマイはし持参運動も実施しています。また、ひがしねマイはしクラブ登録制度、レジ袋削減推進店舗登録制度を設け、市商工会と協力して運動を広げていきます。

東根市

リユース食器事業



東根市 [マップ番号: (19)]

市内の町内会や子供会、学校等の団体が飲食物を提供するイベント等の事業を実施する際に、繰り返し使用できる飲食容器(リユース食器)を利用する費用を4万円を上限として、東根市環境衛生組合連合会が負担しています。その結果、ごみの発生抑制及びリユース意識の啓発を行い、ごみの減量化を図ることを目的としています。平成28年度は22件(21団体)の利用がありました。

東根市

環境週間ひがしね



東根市 [マップ番号: 20]

市民、事業所、行政が一体となって環境問題に取り組むことを目的に、平成17年度から実施しています。

今年度は11/20~27に開催。20日にオープニングイベントとして巨大ダンボール迷路やペーパークラフト、牛乳パックのリサイクル工作、スタンプラリーやリサイクル自転車などが当たる抽選会を実施し、昨年を上回る600名以上の来場者がありました。

東根市

東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO事業」



東根市内の小中学校 [マップ番号: ②〕]

学校ごとに共通項目(省エネ・省資源・リサイクル)と学校や地域の特色を生かした独自項目について、児童・職員が一体となって環境保全活動に取り組みました。実践交流会で、市内全小・中学校が実践校としての認定証交付を受け、記念講演に参加しました。今後の活動の参考となるように、各校の実践をまとめた資料集も作成しました。

新庄市

新庄市再生可能エネルギー設備導入事業費補助金



新庄市[マップ番号: ②]

新庄市では、平成26年度から再生可能エネルギー設備の導入に補助金を交付し地球温暖化対策を推進してきました。対象は、個人宅への太陽光発電設備と個人宅又は事業所へのペレット・薪ストーブ設置です。平成28年度までに合計42件の補助を行いました。今後も、再生可能エネルギーの普及や地球温暖化対策を一歩ずつ進めていきたいと思います。

尾花沢市

再生可能エネルギー設備導入事業



尾花沢市 [マップ番号: 23]

尾花沢市では、平成26年度より地球温暖化防止と 資源循環型社会づくりを推進するため、家庭や事業 所における再生可能エネルギー設備の導入経費に対 して助成を行っています。平成27年度の補助実績は、 太陽光発電設備が6件、ペレットストーブが7件、薪 ストーブが1件となっています。豪雪地である当市では、

太陽光発電設備よりも木質バイオマス燃焼機器が多く導入されており、今後もペレットストーブや薪ストーブの導入を中心とした再生可能エネルギー設備の導入を積極的に支援してまいります。

金山町

役場新庁舎太陽光パネル設置事業



金山町 [マップ番号: 24]

金山町役場新庁舎壁面に太陽光パネルを設置するとともに、災害時等に電気エネルギーの供給手段が断たれた際を想定して蓄電池を設置しました。災害時には、災害対策本部を設置する際に使用する電力が確保できるようになります。

また、発電した電力は、通常時には役場庁舎内で使用することができるようになり、自然エネルギーを使用することでCO₂ 排出量の削減につながります。 パネル出力 25.2kW

蓄電池容量 16.2kWh

戸沢村

エコスタイル

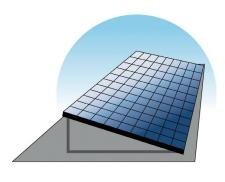


戸沢村役場[マップ番号: ②5]

戸沢村役場では毎年夏季の省エネ・節電アクションとして、ノーネクタイなど「エコスタイル」を励行しています。先進性、独自性はないものの定着して行っています。また、夏季・冬季ともに、庁舎に「省エネ県民運動」のポスターを掲示し、職員や来庁者の意識啓発を図っています。

山辺町

住宅用再生可能エネルギー設備への補助



山辺町 [マップ番号: 26]

地球温暖化防止対策として、クリーンエネルギーである太陽光を利用した住宅用太陽光発電システムを新設する方に対し2.5万円/kW(4kW上限)を助成する。

また、蓄電システムについては補助対象 経費の1/10の額(上限10万円)を助成し、環 境に配慮したまちづくりを推進している。(※ 太陽光発電システムと連携した場合に限る)

中山町

住宅用太陽光発電システム設置補助金



中山町 [マップ番号: ②]

中山町では、地球温暖化防止を推進し、太陽光エネルギーを利用した発電システムの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する住民の方に対して補助金を交付しています。

太陽光発電設備の補助金額は、1kW当たり25,000円で、上限額は新築60,000円、既築120,000円です。

また、平成28年度から新たに補助対象とした蓄電池設備(太陽光発電設備の設置と併せて設置する場合に限る)の補助金額は、補助対象経費の10分の1の額で、新築・既築を問わず、上限120,000円です。

河北町

生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: 28]

地球温暖化防止のため、一般家庭でもご み減量の役割が求められており、河北町では、 一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆 肥化による再生利用を促進するために、生ご み密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付 しています。

2基で1組とし、補助額は購入価格の2分の1以内の額(3,000円限度)です。

河北町

太陽光発電システム設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: ②9]

地球温暖化防止のため、一般家庭でも省工 ネ等の役割が求められており、河北町では平 成23年度から太陽光発電システム設置費用の 補助制度を設けました。平成27年度から町内 の事業所への設置にも対象を拡大しました。

対象は、町内の住宅及び町内の事業所に設置するもので、補助額は1kWあたり30,000円 (4kW上限)です。

米沢市

フードマイレージ!地産地消 親子エコ料理教室・環境講座



置賜地域地球温暖化対策協議会 [マップ番号: ③0]

親子エコ料理教室では、地元野菜を使うことで輸送に係るエネルギー消費を抑えることと、材料を無駄にしないでゴミを出さない大切さを理解してもらった。環境講座では、地球温暖化防止の大切さや家庭でできる省エネについて理解を深めてもらった。

今回のイベントでは33名の参加をいただきました。

川西町

川西町フレンドリープラザ雪冷房システム



|||西町[マップ番号: ③1]|

川西町では、劇場や図書館などの大型複合施設「フレンドリープラザ」に、雪を使った冷房を導入しています。これは、雪国にとって"やっかいもの"であった雪を貯蔵し、夏に資源として活用するという古くて新しいシステムです。このシステムを導入したことにより年間約14トンのCO₂排出を削減しています。雪冷房システムの雪を貯蔵する貯雪庫は2棟あり、

大きさは延床面積394平方メートル、軒高8.2メートルで、貯雪計画量は963トンとなっています。この給雪量で年間334時間の冷房能力があり、フレンドリープラザの冷房能力を十分確保しています。

白鷹町

再生可能エネルギー設備設置補助事業



白鷹町 [マップ番号: ③2]

白鷹町では、平成25年度より住宅における再生可能エネルギー利用の普及を推進し、地球環境の保全に寄与するため、再生可能エネルギー設備を設置する方に対して、補助金を交付している。平成27年度からは太陽光発電設備のほかに、木質バイオマス燃焼機器(ペレットストーブ及び薪ストーブ)にも拡充した補助事業を実施している。

住宅用太陽光発電設備には太陽電池出力1kWあたり25,000円(上限金額12万円)、木質バイオマス燃焼機器には補助対象経費の2分の1(上限金額10万円)の補助をしている。補助実績は25年度が11件、26年度が6件、27年度は住宅用太陽光発電設備は9件、木質バイオマス燃焼機器は5件である。

酒田市

緑のカーテン事業



酒田市 [マップ番号: ③3]

平成20年度から省エネ・地球温暖 化対策として市の施設に緑のカーテン を設置しています。平成26年度からは、 より多くの市民や事業所の方からも取 り組んでいただくためにゴーヤの種と 育て方の手引を無料で配布しています。

平成28年度は、個人の方(約520世帯)や事業者、公共施設に約12,600粒配布しました。(平成22年度~25年度まではゴーヤの苗を配布していました)

酒田市

廃食用油からのエコキャンドル作り



酒田市 [マップ番号: 34]

平成23年度より、小学校の高学年を対象に、廃食用油を原料としたエコキャンドル作りを行っています。このエコキャンドルを夏至と七夕のライトダウンを行う際に使ってもらうことで、ゴミの減量化や省エネルギーだけでなく地球温暖化防止を含めた環境教育につな

がっています。平成28年度の参加人数は、12組25名でした。

庄内町

「庄内町町民節電所」事業



庄内町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③5]

当協議会では平成15年度から継続して「庄内町町民節電所」事業を実施し、今年で14年目を迎えました。

この事業は、昨年度実施された「低炭素杯2016」にて「気象キャスターネットワーク最優秀地域・学校エコ活動賞」を受賞しました。それを記念して、今年度の当事業の一環として《低炭素杯2016受賞記念》「古い冷蔵庫を探せ!!」を実施しました。

〈事業の内容〉

物を長く大切に使う事は大変良い事ですが、冷蔵庫の場合、古ければ古いほど電力をたくさん消費し、CO₂をたくさん放出して地球温暖化に悪影響を与えています。そこで、古い冷蔵庫を

使っているご家庭を探し出し、最も古い冷蔵庫をお持ちのご家庭に新型冷蔵庫を無償提供し、CO₂の削減を図ろうとするものです。 また、この事業を実施する最大の目的は、より多くのご家庭から冷蔵庫の消費電力と地球温暖化に関心を持って頂こうというものです。

三川町

廃食用油(植物性)の集団回収とBDFへリサイクル



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、

三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: 36]

平成21年度から、各家庭の廃食用油(植物性)を各町内会で設置した回収ボックスにより回収しています。

各町内会から回収された廃食用油は、事業所から回収された廃食用油とともに鶴岡市内の民間工場でバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルされた後、その一部を本町が所有するごみ収集車の燃料に再利

用しています。

そのことにより、ゴミ総量の減量や燃料費の削減が図られるとともに、町民の環境保全に対する意識啓発等に繋がっています。 なお、平成27年度に各町内会から回収した廃食用油は517%で、ごみ収集車に給油したBDFは2.994%でした。

三川町

住民参加型「空き缶回収事業」



三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③7]

各家庭から出る空き缶を各町内会が設置した回収ボックスで分別回収することにより、ゴミ総量の減量と CO_2 の削減、環境保全の意識啓発を図りました。平成27年度は、アルミ缶が5.8 t、スチール缶が2.8 t、

合計で8.6t回収しました。

また、町立の横山小学校、東郷小学校、押切小学校の3小学校で実施している空き缶回収では、平成27年度にアルミ缶0.88t、スチール缶0.25t、合計1.13tを回収することができました。

三川町

町内会等集団資源回収、巡回資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑧]

各家庭から出る資源ごみについて、各町内会等による集団資源回収、各町内会を巡回する巡回資源回収、町公民館駐車場に設置した資源リサイクルステーションと資源ポストで回収することにより、

ごみ総量の減量とCO2の削減、資源リサイクルの意識啓発を図りました。

平成27年度は、集団資源回収を全27町内会で延べ69回、巡回資源回収を180日実施し、資源リサイクルステーション及び資源ポストを51日開所しました。

その結果、集団資源回収では計195.3t、巡回資源回収では計31.1t、資源リサイクルステーションでは計81.1t、資源ポストでは計5.8t、合計で313.3tの資源ごみを回収することができました。

三川町

町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置



三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校 、保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③9]

希望する町民へゴーヤ苗の無料配布(66世帯と4事業所、312ポット)及び公共施設等へのグリーンカーテンの設置(役場等の公共施設3ヶ所、各小中学校4ヶ所、みかわ保育園・幼稚園の計8ヶ所に計100ポット)を行いました。

町民にグリーンカーテンの設置を奨励するとともに、公

共施設や学校等へグリーンカーテンを設置し、室内温度の上昇防止によるエアコン等の稼動抑制が図られ、 CO_2 の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっています。

三川町

●ゴミの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座 ●廃プラスチック 卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施 ●エコキャンドルづくりの出前講座



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園・幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: 40]

町内会の集会で家庭から出るゴミの分別、ゴミ総量の減量と CO_2 の削減、環境保全についての出前講座を開催しました。

また、今年度は平成29年2月10日に、みかわ保育園・幼稚園に出向き、廃プラスチック卓上油化装置の実演による環境保全の意識啓発を行う出前教室を実施しました。

三川町

住宅用太陽光発電システム設置補助



三川町 [マップ番号: 4]]

一般家庭での省エネ、新エネルギーの導入を積極的に進めるため、平成26年度より太陽光発電システム設置費用の補助制度を行っています。

山形県の制度で、同様の補助金を受ける方も対象になります。

町の補助金の額は、1kWあたり3万円(上限12万円)です。

平成27年度の補助金交付件数は15件で、太陽光発電設備最大出力合計では75 kWでした。

遊佐町

緑のカーテンプロジェクト事業



遊佐町、遊佐町地球温暖化対策地域協議会[マップ番号: 42]

夏場の省エネ及び地球温暖化防止活動のため、町民、 事業者にゴーヤの種の無料配布を行っている。今年28年 度については、種一袋と苗2本をセットにし、配布をおこなった。

また、役場庁舎をはじめ、地区町づくりセンター、図書館、学校および保育園で緑のカーテンの設置を行っている。

27年度は配布本数296本、28年度は256本を設置し、事業に協力いただいている。エアコン等の稼働抑制、CO₂の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっている。

遊佐町

遊佐町小中学校エコ・チャレンジ事業



遊佐町[マップ番号: 43]

児童生徒自らが電気・水道の省エネ目標を設定し行動することで、 学校における環境教育と地球温暖化防止に向けた省エネ活動の一 層の推進を図ることを目的としている。

削減目標をクリアした学校へは報奨金で還元をし、子供会活動などに役立ててもらう仕組み。これまでのフィフティフィフティ事業か

ら、新たに、子供たちの省エネの取組み過程も評価対象として支援する事業である。

子供達の環境学習の取組みの浸透から、家庭生活への波及効果も期待される。

(事業実施期間:平成28年度~平成30年度) ※平成25~27年度についても実施済

遊佐町

石けんづくり教室



遊佐町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: 44]

平成27年度より「子ども省エネ体験教室」と題し、夏休みを利用して小学生とその保護者を対象に、手づくり石けん教室を開催している。町内の団体であるJA庄内みどり女性部せっけん研究会より協力をいただき、廃食油から石けんを作成している。

平成27年度の参加人数は、子ども24人、大人10人。

平成28年度の参加人数は、子ども13人、大人10人。

環境汚染問題と資源の再利用を考えたエコな石けんである。また、石けんは、微生物のエサとなって分解されるので川や海を汚さない。地球温暖化防止を含めた環境教育につながる活動である。

NPO·団体等

遊佐町再生可能エネルギー設備導入支援事業



游佐町 [マップ番号: (45)]

一般家庭や事業所への再生可能エネルギー設備の導入を普及促進し、地 球温暖化防止に寄与するため、平成26年度より太陽光発電設備導入補助 事業から木質バイオマス燃焼機器や太陽熱利用などにも拡充した補助事 業を実施している。対象は、町内在住者の住宅や事業所に設置する場合で、 川形県の補助事業または町の住宅支援制度とあわせて受けることができる。

NPO·団体等

太陽光発電設備については公称最大出力1kWあたり3万円(上限

150,000円)、木質バイオマス燃焼機器については補助率3分の1(上限50,000円)の補助を行っている。 補助実績については、26年度21件、27年度24件である。

山形市

環境出前教室(マイ箸作り)



NPO 環境と食農研究会 [マップ番号: 46]

各地域の行事や小学校の学年行事などで環境出 前教室(マイ箸作り)を開催しています。環境出前教 室では、割り箸や森林伐採による環境への影響、地 球温暖化の話、自作絵本「ゆうたとおはし」の読み 聞かせ、オリジナルマイ箸の製作を通じて、マイ箸利 用を子供たちやその親御さんに啓蒙しています。

平成28年度は4回開催し、221名の方に参加いた だきました。

工口窓普及推進活動



山形県サッシ・ガラス協同組合 [マップ番号: 47]

エコ窓推進を柱にモデル事業として山形市の 学校、県庁舎へ断熱窓を寄贈し、また展示会で のPR活動などを行い積極的に活動しております。 消費者がより環境負荷が少ない製品を適切に選 ぶことができるように知識・情報を提供し地球

環境の保全に努めております。毎年の環境マイスター研修を実施してより専門知識 を得るよう活動しております。窓の断熱の重要性を広めていくことで温暖化防止へ貢 献できるんだという意識をもってもらいたく、消費者へのPR活動を進めております。

村山市

ecoキャンドルナイトinむらやま



NPO法人甑葉プラザネット[マップ番号: 48]

5月28日十曜日に、今年で第7回目となるecoキャンドルナイ トinむらやまを開催しました。4月から村山市内の各小学校の生 徒のみなさんに作って頂いたキャンドルを広場に並べ、来場者の 方々にecoキャンドルの優しい灯りを楽しんでいただきました。ま た、ecoキャンドルを当日も作れるコーナーや環境について学べ

るコーナー、新聞で作るエコバッグ作成にチャレンジできるコーナー等も設置しました。来場者の方々がecoキャ ンドルの灯りを「楽しむ」だけで終わるのではなく、実際にエコについて「自ら知る・自ら作る」機会を設けたことで、 例年以上に市民の方のエコに対する意識が高くなったのではないかと思います。

山形市

TUYエコキャンペーン地球温暖化防止&エコ番組 「山形エコプロジェクトえこいろ」制作・放送



TUY 株式会社テレビユー山形 [マップ番号: 49]

TUYでは、長期的キャンペーンとして、弊社の情報番組や ニュース番組、キャンペーンスポット放送を通して「エコ&地球 温暖化防止しの啓発活動を展開していますが、更に新鮮で身 近な情報を県民に伝えるために、エコと地球温暖化防止のレ

ギュラー番組 [山形エコプロジェクト えこいろ] を立ち上げ、2009年6月から放送しています。 毎週月曜の夜 6時54分から放送の4分間の番組で、毎回一つのテーマを設け、県内で取り組まれている大小様々なエコ活動 や温暖化防止に関連する情報を中心に紹介しています。県民一人一人のエコへの関心が身近なものとなり、そ の取り組みが普段の生活の中から自然に生まれることを目指し、身近な目線で番組をつくっています。

山形市

廃棄物の焼却発電施設



株式会社クリーンパワー山形[マップ番号: 60]

県内初の廃棄物焼却発電施設として平成27年2月27日より営業運転を開始しました。 同設備は廃棄物の焼却によって発生する熱エネルギーを利用し、廃熱ボイラにて蒸気 を発生させタービン発電機に発電を行い接続可能なエネルギーとするサーマルリサイクル システムです。

平成27年度実績では、産業廃棄物24,000tを受入れ焼却を行い電力として4,402,605kWh を発電、自社施設で使用すると共に 390.200kWh を電力株式会社へ売電を行いました。

廃棄物焼却発電と所内暖房等の廃熱利用により2.729t-C02の削減効果がありました。

県内初の本格的廃棄物のサーマルリサイクル施設として各界から認識を得ており、行政関係、海外から施設見学を受け入れ、県 内外からの廃棄物の排出事業者及びゼロエミッションを推進する事業者のリサイクル率の向上に寄与するとともに、環境負荷の低減 に貢献しています。

環境にやさしい自動車販売・整備事業場



トヨタカローラ山形株式会社[マップ番号: ⑤]]

国十交通省「環境に優しい自動車販売店·整備事業場」認定に挑戦し、 05年に全店が"全国初"となる「認定表彰」を受ける。「環境マイスタ 一」の認定者数は県内最多であり、エコドライブ教室や小学校5年生を 対象に「日本の自動車産業と環境」の課外授業を開催。

その他、無料でタイヤ空気圧調整を行ったり、ペットボトルキャップ

回収を積極的に行い、世界の子供たちへのポリオワクチンの提供活動"、"リサイクルによるCO。削減活動"を行っている。 また、本社社屋に大規模な太陽光発電(40kW)を設置、城北店・天童店・新庄店には廃油ボイラーによる「無散水 消雪設備 を導入している。

太陽光発電システム本店・小白川支店・アグリセンターに設置



山形市農業協同組合[マップ番号: 52]

JA山形市の太陽光発電システムは3基合計で年間は 162.600kWhを発電します。これは一般家庭の消費電力量 の約50世帯分に相当します。また、石油に換算すると18L ポリタンク2,050本分、36,900Lに値します。これからも環 境保全・再生可能エネルギーの普及という社会的要請に答

え、地域に向けて発信して行きます。 JA山形市の太陽光発電システム 本店ビル

小白川支店 アグリセンター

平成21年12月稼働 出力 40kW 平成22年3月稼働

出力 12kW 平成25年12月稼働 出力 117kW

合計 169kW

マイロードサポート活動



山形パナソニック株式会社[マップ番号: 63]

地域貢献活動の一環として「山形県マイロードサポート事業」に参加しており 冬季期間を除く毎週木曜日に会社周辺や公園などの清掃活動を実施しています。 季節によって落ちているゴミも様々ですが、特に11月頃になると落ち葉の清掃 活動が主となります。

当社では専用の回収箱を作り集めた落ち葉を会社へ持ち帰り腐葉土を作っています。

また当社は、エコアクション21の環境方針として「Ecology&Economy~環境と経営の両立~」を理念に掲げ活動を行っ ております。その中の環境活動のひとつでもあるこのマイロードサポート活動は社員に対する教育としても役立っております。 今後も環境マネジメントを通じてエコに関する様々な活動を実施していきます。

木質ペレットストーブの製造・販売と、太陽光発電設備の導入を通した低炭素社会づくり活動



株式会社 山本製作所 [マップ番号: 64]

「農業を大切にすることは、地球を大切にすること。」をスローガンに掲 げ、農業・環境・精米の関連機器メーカーとして、商品・サービスを提供 しています。

特に近年では環境分野に注力し、木質ペレットを燃料としたペレットス トーブの製造・販売を通して、日本の豊かな森林づくりに貢献しております。

地球・地域環境に配慮した企業活動を行うにあたり、2013年8月より自社敷地内の野球場を太陽光発電基 地へと転換。また2015年8月より自社工場と物流倉庫の屋根にも太陽光発電設備を増設し再生可能エネルギー への取組を強化しております。

米沢市

地域資源である古民家を見直し、再生・活用していこう



-般社団法人山形県古民家再生協会 [マップ番号: 65]]

築50年以上経過した木造軸組工法で、在来工法及び伝統構法で 建てられた住宅を「古民家」といいます。地元で伐採された木を活 かした住宅を、解体することなくその状態を維持することでも十分に 環境への配慮になりますが、それだけではなく、古民家の魅力を十 分に理解した上で「再生」し、新たな利用価値をさぐることで、地域

文化がギュッと詰まった「古民家」を活用していくことが求められています。

古民家再生協会では、その古民家の文化的な価値を見い出し、次世代の子供たちへ文化として残していくべく古 民家しの再生方法をお教えしたり、またはその価値を引き継ぐ方を探しだすお手伝いをしております。

山形県産の無垢材による木製ブロックの製造販売



株式会社ニューテックシンセイ[マップ番号: 66]

山形県産広葉樹の無垢材から出来た木のブロック "MOKULOCK (もくロック)" 置賜 地方は広葉樹も多い豊かな山に囲まれており、木工芸品は200年以上の歴史があり、今 もなお受け継がれています。

この資源と文化に、自社で蓄積した技術を融合させ、自然の恵みを伝え、社会の課題(地

方創生、環境、教育、産業構造の変化など)に対する自分達なりの解決方法を表現した商品が「もくロック」です。

自然素材にこだわり、木材加工技術ではありえなかった1/100mm の精度を可能にし、子ども達に安心安全なおもちゃをお届けします。 その他にも、川形県絆の森プロジェクトとして、十分一山の森林整備、下刈り、歩道整備、植林、使用後のもくロックを山へ返す等 を通して地域交流も行っております。

飯豊町

バイオマス燃料の製造販売



中津川バイオマス株式会社[マップ番号: ⑤]]

平成21年11月に操業し、ペレットや薪の燃料等の生産を行っている。ペレットは、置賜地方のペレットストーブに供給。

ペレット150 t/年の生産を目指している。ペレットや薪を利用することは、ナラ枯れ防止、樹木の若返りを促しCO。の削減に寄与する。

小国町

エネルギーの地産地消を目指した木質ペレットとストーブの普及 ~Green Energy for the Future~



ペレットマン (小国グリーンエナジー合同会社) [マップ番号: (38)]

当社は、人口8500人ほどの町でストーブ屋を営んでいます。東京23区がすっぽり入るこの町の面積は95%が森林であり、この地元にある豊かな森林資源を活用して地球温暖化防止や町の地域活性化に貢献したいという思いから始めました。

また、当社では、WEBやストーブ展示場「ペレットマン」を開設しストーブのPR

を行っていますが、同じ思いでストープ等を広めていく方達が、鶴岡市や酒田市や最上町等にも展示場「ペレットマン」を開設しました。なお、現在も増殖中です。

また、再エネに関心を持ってもらおうと、当社が事務局を務める「おぐにエネルギーの地産地消を考える会」にて、毎年シンポジウムやフェスティバルを開催し、町内外から多くの参加者が集まります。

鶴岡市

事業所での継続的な省エネ活動

株式会社JVCケンウッド山形 [マップ番号: 69]

工場全体の電力使用状況の再把握を行い、製造フロアの再レイアウトやレイアウトに合わせたビニールカーテンでのゾーニングを進めると同時に、これまで使用していた床置型パッケージエアコンに代え天井エアコン化を2013年度から進めて来ました。2016年度はデマンド検知で天井エアコン室外機コンプレッサーのパワーセーブ運転コントローラーを35台分の室外機に追加設置しデマンド加止と省エネを図っています。

古い設備もありますが、他社や業者と情報交換しながらこれからも試行しながら運用改善と設備改善のバランスを見ながら省エネを進めるとともに作業環境との両立を図って行きたいと考えています。



○改善実績(7月,8月対前年比)※天井エアコン室外機コンプレッサーのパワーセーブ運転に起因すると思われる分のみ約19千kWh(約12%)改善

鶴岡市

省エネルギーと環境配慮への取り組み



松文産業株式会社 鶴岡工場 [マップ番号: 60]

平成24年3月に実施した、省エネルギー診断がきっかけとなり環境への 意識が社内でも「コスト削減」の取り組みとして年次予算計画を計上することで活動を強化してまいりました。冬期間の暖房に木質ペレット焚きボイラーを8年前に導入、地元の間伐材ペレット燃料を年・平均90トン購入、CO₂の排出削減113.28t-CO₂/年(川形県CO₃森林吸収量等評価認証)。平成26

年9月には製造工程で使用するボイラーを重油ボイラーからLPGボイラーに更新、1年間で82 \pm 000 \pm 2 \pm 1削減、2020年度までの6年間で492 \pm 000 \pm 2 \pm 280個を予算計上で省エネ高効率モーターに取り替え、改善前 (100W) 改善後 (40W) 1台当たり年間2.392円×280個=669,760円の電力料金削減になりました。

鶴岡市

地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発



株式会社 渡会電気土木 [マップ番号: ⑥〕]

当社では、地元地域の黒松及び杉材間伐材等を原料とした木質ペレット燃料を年間約1,500t(平成27年度実績)生産し、地域に供給販売しております。

化石燃料の代替燃料として各施設のペレットボイラー普及にも力を入れております。 また広葉樹等の木質チップをリサイクル利用した臭いのしない各種プランター用土 並びに十壌改良材、木質ペレットを利用する農業ハウス用ペレットストーブの開発販

売、経験を生かした木質ペレットプラントの設計・施工と、環境に優しい事業展開を押し進めております。

ものづくり推進事業として、厄介者である土砂が付着した伐根を洗浄してペレット燃料等に活用する、抜根洗浄機の開発もしております。 また、マイクロ水力発電開発分野に於いて他社と共同で、産学官連携開発の実施推進を行う他、小型風車の実証実験も行っています。

尾花沢市

温水ため池にすむ生きもの調べ



尾花沢市常盤小学校 [マップ番号: 62]

貴重な水辺の自然環境を守るために、児童たちが地域の水環境や生態について学ぶ「生きもの調べ」を行っています。自然や水環境の大切さを知ってもらおうと、六沢地区環境保全会の方々と毎年秋に中原ため池(温水ため池)で開催しており、今年で4回目となりました。

今年度の「生きもの調べ」は常盤小学校・鶴子小学校の合同総合学習として行われました。28人の児童が参加し、東北農政局の職員からため池の役割や生態の説明を受けた後、網とバケツを持って泥の中へ足を踏み入れました。温水ため池にはフナ、ドジョウ、ハヤ、ゲンゴロウなどが多く生息しています。子ども達は泥だらけになりながら魚を捕まえて、友達に自慢するなどしていました。

身近に豊かな自然があることを、楽しみながら学んでほしいと思い、毎年 「生きもの調べ」を行っています。

共催団体の活動の紹介

山形市

エコドライブ普及推進事業

特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター

「簡単に取組めるエコドライブの普及推進」を目的に毎年開催しております「県内縦断エコドライブオリエンテーリング」も10回目となり、これまでの合計1,325台/3770名と多くの方よりご参加頂きました。観光県であります地元山形を楽しみながら学ぶ、改めて知ると言ったきっかけづくりのイベントとして定着しました。



また、ゆとりを持った運転や、エコカーとしての性能を引き出す為の運転方法が、 結果的に「エコドライブ=環境にも人にも優しい=交通安全(交通事故の低減)」 に繋がるといった認識も深まりつつあります。

平成27年度からは、県内全域の小学校を対象(小学5年生)に「子どもエコドライブ教室(5校/年)」をスタート、環境マイスターから発信される情報により、これからの未来を託し「子供の目線で気づく優しいエコ運転、そして環境とは?」など、親子、または地域に波及するよう継続した教室開催を行い、「より環境・人に優しい山形」でありますよう努めて参ります



「エコカップやまがた」ホームページも ご覧下さい。

http://eny.jp/eco-cup/index2016.html

エコカップやまがた



過去のエコカップやまがた大賞受賞団体



特定非営利活動法人アンプ (新庄市) 「新庄中心商店街資源回収

|新庄中心商店街資源回収 プロジェクト「ちょぺっと」」



山形県立置賜農業高等学校 (川西町) 「MOTTAINAIプロジェクト



山形県立東根工業高等学校 (東根市) 「ものづくりプロジェクト 〜手作り太陽電池パネルから 広がる世界のCO2削減〜」



港屋商事株式会社(河北町) 「古紙回収を通じての 環境保護活動」



山形県立米沢工業高等学校 (米沢市) 「米エゼロエミッション プロジェクト



山形県立山形工業高等学校 環境システム研究会(山形市) 「リサイクルDEボランティア



山形県立東根工業高等学校 (東根市)

「続ける手作り太陽電池パネルと 資源の有効活用〜持続可能な まちづくりのために〜 |



株式会社滝の湯ホテル (天童市) 「人と環境に優しい宿づくり」



庄内町地球温暖化対策地域協議会 (庄内町) 「庄内町町民節電所」事業



南陽市 (南陽市)

「地域材を活用した木造公共施設 (南陽市文化会館)」

温暖化防止活動事例収集·発信事業 ストップ温暖化 「エコカップ やまがた2016」 活動事例集

【製作(主催)】

ストップ温暖化「エコカップやまがた2016」実行委員会

【共 催】

NPO法人山形県自動車公益センター

【後援】

山形県、山形県教育委員会

【事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

【発行日】

平成29年2月20日



【本冊子についての問合せ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター (特定非営利活動法人環境ネットやまがた)

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37 TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389 E-mail env@chive.ocn.ne.ip ホームページ http://env.ip

※各団体の連絡先は、事務局(山形県地球温暖化防止活動推進センター)までお問い合わせください。